



ら ぶ っ く  
**La・Book**

10月号  
No.100

特別寄稿

マイ図書館袋

安曇野市教育長 橋渡 勝也

図書館袋は、市内小中学生全員が持っている「図書館の本を持ち運ぶためのバッグ」です。

ある時、県外に住む一女から「図書館袋って長野県だけのものらしい、驚いた」と連絡があり、私も認識を新たにしました。

「学校では馴染みのある図書館袋を、公共図書館でも広めたらどうだろうか」と思い提案したところ、「本を大切にしてもらおうことにもつながるから」と、取り組んでいただけることになりました。中央図書館を中心に、図書館の思い出を調査することから始まり、今も全館で図書館袋持参の呼びかけが行われています。

家でそのことを話題にすると、長女が市の図書館キャラクター「ぼぼん」の刺繍をあしらった布製の図書館袋を手作りしてくれました。この袋を持って図書館に向かう時は、不思議とウキウキとしてきます。

皆さんも、お気に入りのマイ図書館袋を手に入れ、図書館に出かけませんか。



図書館だよりが綴る  
安曇野市図書館の  
主な出来事

発行年月	No.	主な出来事
H24・7	1	La・Book創刊
〃・11	5	ブックスタート紹介
H25・5	11	インターネット予約サービスが始まります
〃・7	13	明科図書館開館 10 周年記念松本猛講演会
〃・9	15	10 月 1 日から中央図書館の休館日が変わります
H27・4	34	5 月 1 日より「読書通帳」を配布
〃・6	36	あづみ野エフエムで「ビブリオマルシェ」を放送中です
〃・11	41	豊科図書館は開館 5 周年を迎えます「記念講演会」
H28・4	46	春一番 新堀金図書館開館 5/8 記念講演会
H30・3	69	新しい三郷図書館待望のオープン
〃・11	77	図書館キャラクターの名前が決まる「ぼぼん」です
〃・12	78	明科図書館IC化と自動貸出機の設置
R1・5	83	セカンドブック事業が始まります。図書館袋運動開催中
〃・6	84	中央図書館開館 10 周年記念 松山三四六さん講演会
〃・9	87	中央図書館にバリアフリーコーナーができました



中央図書館



豊科図書館



三郷図書館



堀金図書館



明科図書館



安曇野の本の妖精“ぼぼん”

☆10月のおはなし会にお出かけください



中央	おはなしのとびら	おはなしのへや 7日・14日・21日・28日(各水曜日) 10:30～ 先着7組 (乳幼児対象)
	おはなしとしょかん	おはなしのへや 24日(土) 10:30～ 先着7組 (幼児以上対象)
豊科	ちいさいたんぼぼ	豊科交流学習センター「きぼう」第1学習室 16日(金) 11:00～ 先着10組 (乳幼児対象)
	おはなしたんぼぼ	豊科交流学習センター「きぼう」第1学習室 16日(金) 16:30～ 先着10組 (幼児以上対象)
三郷	ポケットの会	三郷交流学習センター「ゆりのき」学習室1・2 10日(土) 10:30～ 先着10組 (乳幼児以上対象)
	おはなしの会	三郷交流学習センター「ゆりのき」学習室1・2 27日(火) 11:00～ 先着10組 (乳幼児以上対象)
堀金	おはなしのへや	絵本コーナー 20日(火) 10:30～ 先着5組 (乳幼児対象)
	おりがみのへや	絵本コーナー 28日(水) 16:30～ 先着5組 (幼児以上対象)
明科	子どもと大人のおはなし会	おはなしのへや 24日(土) 11:00～ 先着5組 (乳幼児以上対象)

# 9月予約ランキング

## 一般書

- スキマワラシ／恩田陸
- あきない世傳金と銀9／高田郁
- 少年と犬／馳星周
- 一人称単数／村上春樹
- テロリストの家／中山七里
- 赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。／青柳碧人
- いちねんかん／畠中恵
- 「織細さん」の本／武田友紀
- 82年生まれ、キム・ジョン／チョ・ナムジュ
- もう、聞こえない／菅田哲也



## 児童書

- 京都・奈良・大阪修学旅行パーフェクトガイド  
／あんぐる
- 郷土の人物／菅野則子
- ふしぎ駄菓子屋銭天堂 14／廣嶋玲子
- りんごって、どなくだもの？／安田守
- 大好きなハリ・ポッターへ／ビル・アドラー
- 道具と機械の本／デビッド・マコーレイ
- なぜ僕らは働くのか／池上彰
- バムとケロのそらのたび／島田ゆか
- ふしぎ駄菓子屋銭天堂 1／廣嶋玲子
- ふしぎ駄菓子屋銭天堂 2／廣嶋玲子



## AV 資料

- 5×20 All the BEST!! 1999-2019 A・RA・SHI／嵐
- POP VIRUS／星野源
- ちびまる子ちゃんセレクション／動物のエピソード1  
／高木淳



## 明科図書館から

### 本のソムリエ(司書)おすすめ本

#### 一般書

#### 『注文をまちがえる料理店』

表紙

小国士朗著／あさ出版  
認知症を抱える人が接客をする不思議であたたかいレストランのものがたりです。

「注文を間違える料理店へようこそ」

「忘れちゃったけど、間違えちゃったけど、まあいいか」の精神で、その場があたたかいものになる。お年寄りがいきいきと働ける。

認知症という負のイメージを明るく楽しめる場に変えてくれる料理店のお話です。

コロナ禍の昨今ですが、いつでもそんなおらかな気持ちが持てたら良いと思います。

#### 児童書

#### 『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』

表紙

飯間浩明著／ポプラ社  
三省堂国語辞典 編さん者の飯間さん。牛タン・天ぷら・いちご…。

一冊の辞書を作るために分かりやすく、そして今を生きる人たちに共感してもらえる意味を常に求めながら、今日も「ことば」を探して街や本・インターネットの中を歩き回り、気になる言葉を探していき、辞書に乗せる言葉を選んでいきます。

言葉が大好きな飯間さんが言葉の世界の楽しさを教えてくれる一冊。

これを読んだ後に辞書に触ってしまったのは私だけでないはず…！

## 私と図書館

### 「ワクワク」する場所

丸山 美保 (三郷)

幼いころ、本が大好きで、図書館で本を探すことが楽しくてしようがなかった。しかし、いつしか私にとって図書館は集中して勉強できる場所が変わっていった。

大人になり、読書から遠ざかっていた私に、本の楽しさを思い出させてくれたのも、また図書館である。仕事に役立つ本や知識を広げるための本ばかり読んでいた私が、ある日ふと立ち寄った児童書コーナー。図鑑、伝記、ひみつシリーズ等、分かりやすく、カラフルで見ているだけでワクワクした。大人になってから読む児童書は、懐かしさと新鮮さがあり、とても面白かった。私の中で本を「読まなきゃいけない」から「読みたい」に変わった瞬間だった。

その日から、私の読書熱が再燃。今では幅広いジャンルの本を読んでいる。毎回、貸出数の十冊に絞るのに苦労するが、楽しい苦勞だ。私にとって図書館は、今でも「ワクワク」する場所である。



### ※編集後記※

皆様にご愛読いただき、「a・Book」は第100号を迎えることができました。

この機会に思い過去の紙面を読み返してみますと、「私と図書館」や「奮闘」調べもの日記」など、各コーナーに思い出がいっぱい詰まっています。

これからも図書館が本と人との出会いの広場になりまますよう、いろいろな情報をお届けしたいと思います。



### 編集・発行・お問い合わせ



- |       |          |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ (蔵書・資料の検索もできます)  
http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho